

在インドネシア日本人のための 異文化マネジメント onlineセミナー

※本講座は日本語で行います
※カルチャーコンパスを実施（費用は受講料に含まれています）

2020年5月13日（水）

開催時間: 13:00-16:00 3時間

定員: 10名

受講料: IDR 1,500,000 (+Tax) ※Onlineセミナー価格

※申込受付締切: 2020年5月7日(木)



インドネシア人と日本人のギャップ分析からインドネシア人への伝え方を学ぶ

インドネシア人と仕事をするときに、何度言っても「言うことを聞いてくれない」、こちらの言いたいことが「伝わっていないなあ」とがっかりすることはありませんか？それはリーダーシップスキルの不足でも、相手の能力不足でもなく、異文化＝異なる価値観が原因となっていることが多いのです。このセミナーでは「6Dモデル」という異文化理解のためのツールを学習し、なぜ伝わらないのか？を科学的に分析するポイントをお教えします。そのうえで、実際に起きたリアルなケースを題材に効果的なコミュニケーションを考えてゆきます。「インドネシア人をやる気にさせてパフォーマンスを上げる」ための戦略を皆さんと一緒に考えてみましょう。

■セミナーの内容

- インドネシア人に対するイメージを語る
- 異文化を理解するフレームワーク:ホフステードの6次元モデル
- 日本の特徴、インドネシアの特徴、カルチャーコンパス分析
- ケース分析

■ホフステードの「6-Dモデル」とは？

異文化と組織文化研究の世界的権威であるオランダのホフステード教授が国別の文化の違いを分類・スコア化したもの。このモデルを使用することにより、世界で初めて各国の価値観の違いを相対的できるようになった。ホフステード博士は世界で最も論文引用件数の多い学者であり2008年には、ウォールストリートジャーナルより、「世界で最も影響力のある経営学者」20人に選ばれている。

■スピーカー



勝 幹子 (かつ みきこ)

サイコム・ブレインズ株式会社
ディレクター/シニアコンサルタント

上智大学外国語学部、一橋大学大学院国際企業戦略研究科卒業。電機メーカーの人事部勤務ののち、ソフトウェア開発のベンチャー企業にてアライアンスを担当。サイコム・ブレインズに参画後は多国籍な参加者向けの研修や海外体験研修の企画の立ち上げに携わり、最近では海外の日系企業の組織文化ワークショップに力を入れる。



Nugraheni Niki Lintang Pertiwi

サイコム・ブレインズ インドネシア
Country Manager

明治大学大学院経営研究科、一橋大学国際企業戦略研究科(ICS)卒業。三井物産の奨学生として明治大学経営学科を卒業後、大手日系メーカーに入社。本社よりインドネシア生産拠点に赴任しグリーン調達など様々なプロジェクトをリードする。退社後は食品関連の企業を立ち上げてCEOに就任する。異文化やマネージャー研修の講師としても活躍する傍ら日本人、インドネシア人双方の悩みを理解し、より良い組織を作り上げるためのアドバイスを行う。

<https://www.cicombrains.co.id/openlecture/detailevent.html/?id=25&category=sec1>

▶ 講座の詳細、お申し込み

リントン +62-(0)823-1101-0551 (日本語)

cbi@cicombrains.com

Santi +62-(0)8131-1020-455 (インドネシア語・英語)

